

5. 外来(糖尿病)

関東: 社会保険関連団体(約450床)

(背景)
 ・患者数の増加
 ・糖尿病合併症患者増加
 ・診療科に専門医が配置されていない
 ・教育を受けた看護師が配置された

看護師(教育を受けた看護師)

医師

○薬剤投与と予測

- ・インスリンの単位調節
- ・インスリンの種類(種類)の予測、調整
(投与方法、作用動態による持続時間、デバイス選択等)
- ・個別具体的な糖尿病患者への指導
(海外旅行時など)

○薬剤処方

- ・包括指示
- ・看護師の予測の確認

外来に糖尿病の専門医がいつもいるとは限らない
 →心疾患や脳卒中患者で糖尿病を合併している患者が来た場合に、糖尿病専門医が不在の場合、医師が看護師(研修を受けた看護師)と話し合い、診療を速やかに行うことができる。

院内プロトコールのもとに役割分担と実施

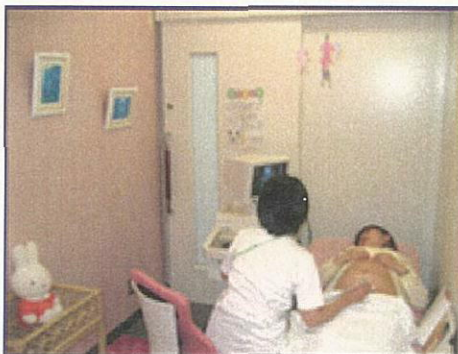
看護師は医師の指示の範囲内で**薬剤投与の必要性を予測**

6

6. 助産外来

関東: 企業立(約600床)

(背景)
 ・医師不足
 ・待ち時間が長い



○予約は、月～金フルタイムで可能(13枠/日)

【妊婦からの意見】

- 待ち時間がない
- 一人につき30分のケア
その人のために使う時間の確保
- 家族にも同時に関わってもらえる

【医師からの意見】

- 1日に2時間のゆとりが生まれた

→医師からも妊婦からも好評
 費用対効果が高い
 助産師の人材確保に貢献

7